

事業所名称(事業所番号):長浜西部デイサービスセンター(2570300257)TEL0749-65-8353
 提供サービス名:通所介護

評価年月日: R5年 3月 31日

評価結果整理表(通所系サービス)

○共通評価項目

I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1)理念、基本方針が確立・周知されている。			着眼点でのチェック数
①	a	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	6 項目/6項目
総合評価・判断した理由等			
パンフレットやホームページ及び重要事項説明書にて記載、また、事務所前に法人の理念、基本方針を明示している。朝礼では理念、基本方針の唱和を毎回行っている。			
2 経営状況の把握			
(1)経営環境の変化等に適切に対応している。			
①	a	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	4 項目/4項目
②	a	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	4 項目/4項目
総合評価・判断した理由等			
年毎の運営方針に基づき、サービス提供地域の動向、利用者ニーズを踏まえ事業計画を策定している。コロナの影響以外で経営に影響があるものがないか話し合いを行っている。			
3 事業計画の策定			
(1)中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①	a	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	4 項目/4項目
②	a	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	4 項目/4項目
(2)事業計画が適切に策定されている。			
①	a	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直し が組織的に行われ、職員が理解している。	5 項目/5項目
②	b	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	0 項目/4項目
総合評価・判断した理由等			
法人の理念や基本方針の実現に向け、具体策を実施する為の中長期経営計画を策定している。また、事業計画については、課題を整理、協議し策定、掲示はしているが利用者や家族への理解を促すためにどうするか協議している。			
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
(1)質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			

①	b	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に 行われ、機能している。	3 項目/4項目
②	a	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明 確にし、計画的な改善策を実施している。	5 項目/5項目
総合評価・判断した理由等			
年一回以上自己評価、また、ご利用者、ご家族、ケアマネージャーにアンケートを実施し評価 結果を分析、検討する事でサービスの質の向上に組織的に取り組んでいる。普段からも利 用者や家族の聞き取りを行っている。			

II 組織の運営管理			
1 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①	a	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し 理解を図っている。	4 項目/4項目
②	b	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を 行っている。	3 項目/4項目
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①	a	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に 指導力を発揮している。	5 項目/5項目
②	a	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力 を発揮している。	4 項目/4項目
総合評価・判断した理由等			
管理者は責任の所在と役割分担について、組織図や事務分掌で明らかにしている。毎年管 理者研修を受講、また、法令順守の意識強化を働きかけ、管理者不在であっても組織的に 機能できるよう権限委任を明確化している。			
2 福祉人材の確保・育成			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
①	a	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な 計画が確立し、取組が実施されている。	4 項目/4項目
②	b	総合的な人事管理が行われている。	5 項目/6項目
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	b	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場 づくりに取り組んでいる。	7 項目/8項目
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①	b	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	4 項目/5項目
②	b	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定 され、教育・研修が実施されている。	4 項目/5項目
③	b	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されてい る。	5 項目/5項目
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
①	a	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成 について体制を整備し、積極的な取組をしている。	5 項目/5項目
総合評価・判断した理由等			

職員の就業状況や意向の把握等に基づいてワークライフバランスに配慮した取り組みを行っている。法人のDVD研修は皆が受けられるように配布している。実習生の受け入れは感染対策を講じながら研修・育成に取り組んでいる。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

①	a	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	4 項目/5項目
②	a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	4 項目/4項目

総合評価・判断した理由等

法人ホームページにて、法人の理念や基本方針、提供する福祉サービスの内容等が適切に公開されている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

①	b	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	3 項目/5項目
②	a	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	5 項目/5項目

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	b	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	4 項目/5項目
---	---	--	----------

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	a	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	1 項目/1項目
②	c	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	0 項目/5項目

総合評価・判断した理由等

今年度もコロナの影響にて地域との交流やボランティア受け入れできなかった。関係機関との連携はお互いに電話連絡やメール、FAXなどで連絡し合い連携をとるようにつとめた。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

①	a	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	5 項目/5項目
②	a	利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	4 項目/4項目

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

①	b	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	4 項目/5項目
②	a	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	5 項目/5項目
③	a	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	4 項目/4項目

(3) 利用者満足の向上に努めている。

①	b	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	2 項目/5項目
---	----------	---------------------------------	----------

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	b	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	6 項目/7項目
---	----------	----------------------------	----------

②	b	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	2 項目/3項目
---	----------	------------------------------------	----------

③	a	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	6 項目/6項目
---	----------	---------------------------------	----------

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

①	a	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	6 項目/6項目
---	----------	---	----------

②	a	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	6 項目/6項目
---	----------	--	----------

③	a	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	5 項目/5項目
---	----------	----------------------------------	----------

総合評価・判断した理由等

利用者、家族からの苦情や意見は真摯に受け止め速やかに改善できる所は改善できるよう話し合いを行っている。常に言いやすい環境であるよう利用者、家族との交流を多く持つよう心掛けている。感染対策、災害対策を整備し安心して利用してもらえよう努めている

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

①	a	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	4 項目/4項目
---	----------	---	----------

②	a	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	4 項目/4項目
---	----------	-------------------------------	----------

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

①	a	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	7 項目/7項目
---	----------	--------------------------------------	----------

②	a	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	4 項目/4項目
---	----------	------------------------------	----------

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

①	a	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	6 項目/6項目
---	----------	---	----------

②	a	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6 項目/6項目
---	----------	------------------------	----------

総合評価・判断した理由等

介護計画書に基づいてサービスを行い、行った事は全て記録へ残し計画の見直しのため評価しやすい様に取り組んでいる。

○内容評価項目

A-1 生活支援の基本と権利擁護			
(1)生活支援の基本			
①	a	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	6項目/6項目
②	a	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	6項目/7項目
(2)権利擁護			
①	a	利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	7項目/7項目
総合評価・判断した理由等			
初めの実調の際に本人へ趣味や日常生活の事などの聞き取りを行い、デイでお過ごし頂くにあたって配慮しやすいようにしている。またご利用中はコミュニケーションを取り生活の中で困っている事などの相談もきくようにしている。権利擁護は書面に明記し職員間での取組			
A-2 環境の整備			
(1)利用者の快適性への配慮			
①	a	福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	4項目/4項目
総合評価・判断した理由等			
毎日掃除を行い、ご利用中も換気を徹底し過ごしやすい環境に配慮している。利用者からの意見も聞き、寄り過ごしやすい環境作りを行うよう配慮している。			
A-3 生活支援			
(1)利用者の状況に応じた支援			
①	a	入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	10項目/10項目
②	a	排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	10項目/10項目
③	a	移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	9項目/9項目
(2)食生活			
①	a	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	3項目/3項目
②	a	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	8項目/8項目
③	a	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	7項目/7項目
(3)褥瘡発生予防・ケア			
①	a	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	6項目/6項目
(4)介護職員等による喀痰吸引・経管栄養			
①	b	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	2項目/5項目
(5)機能訓練、介護予防			

①	a	利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	5 項目/5項目
(6) 認知症ケア			
①	a	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	10 項目/10項目
(7) 急変時の対応			
①	a	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	8 項目/8項目

総合評価・判断した理由等

食事や排せつなどケアは介護計画書へ記載する際は、自立を促すための文章を明記している。毎回転倒予防体操や口腔体操を行ったり機能訓練指導員による生活機能向上連携加算への取り組みを行い状態を観察し記録している。

A-4 家族等との連携

(1) 家族等との連携

①	a	利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	7 項目/7項目
---	---	--------------------------	----------

総合評価・判断した理由等

家族への報告などは毎回の送迎時での口頭報告、連絡帳へ記載するようにしている。電話連絡も多く持ち交流を持つようにしている。

利用者の要介護状態の改善のためのサービス評価基準(滋賀県独自項目)

(1)	a	運動器の機能向上に資する取組を計画的・組織的に行っている。	7 項目/7項目
(2)	a	日常的な介護サービスにおいて要介護状態の改善に資する取組を行っている。	4 項目/4項目

総合評価・判断した理由等

生活機能向上連携加算を実調時に説明し希望の方へ対応している。毎回の利用時に転倒予防体操行い、DAMを使って脳トレ、体を動かす、歌を歌うなど取り組みを行っている。

事業所名称(事業所番号):長浜西部デイサービスセンター(2570300257)TEL0749-65-8353
 提供サービス名:通所介護

計画年月日:R4年 3月 31日

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価の計画

計画年月日: R4年 3月 31日

前回評価年月日:

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ～○年○月ま で)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内 容				
A-1②	1	利用者一人ひとりに 応じたコミュニケー ション、利用者の尊 厳に配慮した接し方 や言葉遣い	R4.4～ R5.3	事業所内ミーティング を実施し、職員間で互 いに意見できる場を 設け、接遇の向上を 図る	一部達成	R5.3
A-4①	2	ケアマネジャー・関 係機関との連携を図 る	R4.4～ R5.3	利用者の情報交換に 努めサービスの向上 を図る	一部達成	R5.3
A-1②	3	利用者、家族の意見 を聴く	R4.4～ R5.3	サービスの質の向上 に向けてのアンケート を実施する	未着手	R5.3
A-3(5)	4	機能訓練の充実を図 り介護予防活動に取 り組む	R4.4～ R5.3	外部のリハビリ職と連 携、またレクリエーション の中で日常的に体を動 かす事ができる環境 に取り組む	一部達成	R5.3